



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月19日

上場会社名 AOI TYO Holdings株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3975 URL http://aoityo.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中江 康人  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 譲原 理 (TEL) 03-3779-8415  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月19日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	13,049	△15.7	116	△81.6	5	△99.1	△32	—
2019年12月期第1四半期	15,470	△0.3	633	△42.0	564	△45.3	263	△68.7

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △226百万円( —%) 2019年12月期第1四半期 356百万円(△58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△1.40	—
2019年12月期第1四半期	11.20	11.15

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	52,349	22,849	42.9
2019年12月期	53,352	23,363	43.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 22,433百万円 2019年12月期 22,935百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	8.00	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	24,566,447株	2019年12月期	24,566,447株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	1,110,062株	2019年12月期	1,109,564株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	23,456,609株	2019年12月期1Q	23,553,340株

(注) 自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している418,900株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第1四半期連結会計期間は、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界的に経済活動が停滞し、わが国経済もインバウンド需要の大幅減に加え、3月に入ってから外出自粛に伴い多くの業態で休業や時短営業を実施しており、景気は急激な落ち込みを見せています。

当社グループにおいても、新型コロナウイルス対策として、2月中旬に撮影を含めアジア圏への渡航を原則中止・延期とする措置をとったほか、2月下旬には20名以上の会議の抑制や国内外の出張抑制（実施の際は取締役承認）を通達しています。また、政府によるイベント自粛要請や北海道での緊急事態宣言を受け、3月以降は国内外出張の全面禁止に加え、撮影は「3密」に該当することから、撮影を伴う案件については企画段階での内容変更や規模縮小の検討を進める旨の措置を講じ、3月下旬以降からは、広告会社・広告主に対して撮影の延期を要請しています。

このような状況の下、当社グループは、大手広告会社からの広告映像制作案件の撮影や編集作業の遅れ、広告関連事業における各種イベントの中止・延期に加えて、前年度に整理した業績不振な子会社の売上分の剥落もあり、売上高は前年同期比2,421百万円減少し13,049百万円となりました。うち、新型コロナウイルスの影響による各種案件の延期・中止に伴う売上減は1,850百万円程度となっています。一方で、当第1四半期連結会計期間末における受注残高は前年同四半期末比998百万円増の16,910百万円となっております。

利益面でも、売上高の減少が大きく響き、前年度に減損損失を計上したソフトウェアや業績不振な子会社等の整理に係わる費用が削減されているものの、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期比減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高13,049百万円（前年同期比15.7%減）、営業利益116百万円（前年同期比81.6%減）、経常利益5百万円（前年同期比99.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益263百万円）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額85百万円が含まれております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,002百万円減少し、52,349百万円となりました。主な要因は、仕掛品が1,514百万円、電子記録債権697百万円がそれぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が3,277百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて487百万円減少し、29,500百万円となりました。主な要因は、短期借入金が2,300百万円増加しましたが、買掛金が1,431百万円、長期借入金が742百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて514百万円減少し、22,849百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、配当金の支払いにより286百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期上期及び通期の連結業績予想については、すでに2020年4月28日付け「2020年12月期第1四半期連結決算発表の延期及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2020年2月19日に公表しました業績予想を一旦取り下げて未定としております。

#### ① 新型コロナウイルス感染症への対応と影響

当社グループでは4月以降も、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を順次強化しており、現状、全従業員を対象に当面の間、原則在宅勤務とし、各拠点への入館を制限しております。また、広告制作業務については、取引先の皆様、従業員の安全・健康確保を最優先とするとともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止という社会的要請にも応えるため、撮影・編集等複数人での接触が必要な業務の延期のお願いをしております。

今後、緊急事態宣言が解除されたとしても、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の継続は必要になるものと考えられますが、現時点においては、そのレベル感が明らかになっておらず、当社グループの映像・イベント制作業務等に与える影響の度合いについて見極めが難しい状況です。しかしながら、「3密」を避け感染リスクを最小限にした企画・制作手法を積極的に提案する等、広告会社・広告主と協議し、制作現場の安全を確保しつつ、適切な広告コミュニケーション活動の継続に尽力してまいりたいと考えています。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞により国内外の経済情勢・企業収益の動向が大きく悪化し、広告需要が落ち込む可能性があります。現時点においては、それが当社グループの受注に与える影響額を合理的に算出するのが困難な状況です。

なお、当社は、2020年3月末において連結現金及び預金9,142百万円、流動比率は188.7%と高い水準を維持しております。また、複数の金融機関との間で120億円のコミットメントライン（2020年3月末利用残高32億円）を締結しているとともに、2020年12月期第2四半期に年度資金として長期借入金の調達も予定しており、流動性を十分に確保している状況です。

#### ② 今後の見通し

このような状況を踏まえ、業績予想については引き続き未定とし、今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,111,122	9,142,175
受取手形及び売掛金	16,873,978	13,596,093
電子記録債権	4,413,564	5,110,573
商品及び製品	7,301	7,202
仕掛品	4,510,288	6,024,878
その他	1,125,296	1,261,056
貸倒引当金	△37,727	△38,536
流動資産合計	36,003,823	35,103,442
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,606,822	3,593,652
その他	3,477,826	3,377,906
有形固定資産合計	7,084,649	6,971,559
無形固定資産		
ソフトウェア	161,589	234,213
のれん	4,010,215	3,911,018
その他	103,479	15,994
無形固定資産合計	4,275,284	4,161,225
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787,051	1,514,978
繰延税金資産	1,328,303	1,521,338
敷金及び保証金	1,522,658	1,535,995
その他	2,125,874	2,307,360
貸倒引当金	△775,409	△766,195
投資その他の資産合計	5,988,478	6,113,477
固定資産合計	17,348,413	17,246,262
資産合計	53,352,237	52,349,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,697,200	7,265,565
短期借入金	3,200,000	5,500,000
1年内返済予定の長期借入金	3,073,876	3,038,947
前受金	899,779	1,162,813
未払法人税等	428,710	190,009
賞与引当金	72,660	71,377
その他	1,970,931	1,378,058
流動負債合計	18,343,158	18,606,771
固定負債		
長期借入金	6,672,675	5,930,281
長期預り金	3,501,199	3,501,199
役員退職慰労引当金	261,883	249,112
役員株式給付引当金	254,811	261,208
退職給付に係る負債	267,504	281,584
資産除去債務	491,279	480,215
その他	195,809	190,260
固定負債合計	11,645,165	10,893,862
負債合計	29,988,323	29,500,634
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	12,172,896	12,173,895
利益剰余金	7,056,711	6,737,248
自己株式	△1,259,085	△1,259,417
株主資本合計	22,970,523	22,651,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,693	△140,301
為替換算調整勘定	△44,141	△75,891
退職給付に係る調整累計額	△1,945	△1,624
その他の包括利益累計額合計	△35,393	△217,818
新株予約権	86,274	85,698
非支配株主持分	342,508	329,463
純資産合計	23,363,913	22,849,070
負債純資産合計	53,352,237	52,349,704

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	15,470,991	13,049,745
売上原価	12,332,885	10,916,463
売上総利益	3,138,105	2,133,282
販売費及び一般管理費	2,504,341	2,016,880
営業利益	633,764	116,402
営業外収益		
受取利息	2,296	1,419
受取配当金	5,268	2,886
保険返戻金	27,379	1,710
その他	27,712	45,435
営業外収益合計	62,656	51,453
営業外費用		
支払利息	16,240	18,568
支払手数料	41,675	40,369
持分法による投資損失	43,305	42,108
その他	31,146	61,474
営業外費用合計	132,369	162,521
経常利益	564,051	5,334
特別利益		
固定資産売却益	—	6,038
その他	1,152	576
特別利益合計	1,152	6,614
特別損失		
持分変動損失	—	4,452
その他	—	45
特別損失合計	—	4,497
税金等調整前四半期純利益	565,203	7,451
法人税、住民税及び事業税	230,234	167,264
法人税等調整額	89,311	△132,635
法人税等合計	319,545	34,629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	245,658	△27,178
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,100	5,774
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	263,758	△32,953

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	245,658	△27,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,261	△150,995
為替換算調整勘定	7,907	△37,864
退職給付に係る調整額	285	320
持分法適用会社に対する持分相当額	4,626	△10,821
その他の包括利益合計	111,080	△199,360
四半期包括利益	356,738	△226,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,582	△225,369
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,843	△1,169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。